

Close Your Eyes and You Will Hear  
—The Social Role of Art

# 目を 瞑れば 聞こえてくる ——アートの社会的役割

平川典俊 (美術家)  
Noritoshi Hirakawa, Artist

伊藤隆介 (映像作家・美術作家)  
Ryusuke Ito, Visual Artist/Filmmaker

小沢剛 (美術家)  
Tsuyoshi Ozawa, Artist

2016年5月16日[月] 18:00—19:30  
Monday May 16, 2016 18:00—19:30

上野校地中央棟2F 第6講義室  
Lecture Room 6, Central Bldg., Ueno Campus, Tokyo University of the Arts

2011年3月11日を境に、多くの人々が既存の私たちがこれまで教えられ信じてきた価値観が本質的に転換する必要があるのではないかと意識を持つようになったと感じています。同時に制度的な役割や仕事と一定の距離を置いている、インスピレーションを軸に創造活動をおこなっている多くのアーティストはそれをより強く意識しているのではないかと想像しています。

これまではアートが社会的役割を担うという意識を持っていたりその考え方を共有する人々は少なかったかと思いますが、現在は多くのアーティストが福島とのリンクで創造活動をおこなっていることで、社会や今を生きる人々の意識がつながり、芸術が具現的な力や影響をもたらし、世の中に参与していくことができると感じている人々も増えているのは間違いのないと思います。芸術の現実への波及効果や変化は、一般の日本人やアーティストが考えている以上のものであることもこのシンポジウム開催を含め認識されることも非常に重要でしょう。

以上のことを意識し創造活動をおこなっているアーティスト、昨年、広島で被曝70周年記念事業として開催された「TODAY IS THE DAY 未来への提案」ならびに現在タイのバンコクで巡回展開催中の同展に参加しているアーティストを中心にスピーカーとして招聘し、アートの社会的役割やこれからのアートについて語っていただき、東京芸術大学の学生、特にこれからの日本の未来を担う新入生そして多くのアーティストやアート愛好者や一般の方々を対象に、このトークイベント「目を瞑れば聞こえてくる ——アートの社会的役割」に参加して貰えればと思っております。

東京藝術大学美術学部特別講演会

主催 — 東京藝術大学

企画 — 先端芸術表現科 + グローバルアートプラクティス専攻